

〈市民講座〉

地域における性教育

～子どもへの性被害の現状をふまえて

昨年7月に刑法が110年ぶりに改正され、とくに子どもへの性暴力に関心が高まっています。本年3月に行われた内閣府の調査では、性被害時期について18歳未満と答えた人が26.8%、うち15歳以下が21.3%をしめています。子どもの場合は、被害の出来事の意味もわからず、誰にも相談できないという現実があります。子どもが性暴力や虐待に遭ったときに“助けて”とSOSを出せるためには、周囲の大人が正しい知識と対処方法を身につけていることが必要です。本講座は、医療、学校、保護者、行政など子どもを見守る立場の方々を対象に、子どもたちの性をめぐる現状と、緊急対応を含む適切な対応について学んでいただけるような内容を考えております。なお開催にあたりましては、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」領域に平成29年度採択されました「トラウマへの気づきを高める“人・地域・社会”によるケアシステムの構築」の研究開発として企画・運営いたします。

演題①「子どもへの性被害」

田口 奈緒（県立尼崎総合医療センター産婦人科）

演題②「もしも性被害を打ち明けられたら」

仲 真紀子（立命館大学総合心理学部 教授）

日時：平成30年12月2日(日) 13:00-17:00

場所：姫路市医師会館5階大ホール

対象：医療・学校関係者、行政担当者、一般市民 200名

入場無料

主催：平成30年度戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）「トラウマへの気づきを高める“人・地域・社会”によるケアシステムの構築」プロジェクト「公私をつなぐバーチャル・ワンストップ支援センター」グループ

共催：姫路市医師会

後援：兵庫県産科婦人科学会 兵庫県小児科医会、加西市教育委員会 姫路市教育委員会、福崎町教育委員会、姫路こども家庭センター、姫路市保健所

協力：NPO 法人性暴力被害者支援センター・ひょうご

お問い合わせ先：県立尼崎総合医療センター（「公私をつなぐバーチャル・ワンストップ支援センター」グループ事務局 福岡）TEL06-6480-7000(#3830)もしくはTEL/FAX06-6480-1140 Email:sshien@1-kobe.com